

大阪・関西万博（2025 年日本国際博覧会）会場内で、ナウル共和国パビリオンと箕面市の広報連携協定の調印式を開催しました！



ナウル共和国パビリオンと箕面市は、9月12日（金曜日）、大阪・関西万博（2025 年日本国際博覧会）会場内、ナウル共和国パビリオン（コモンズ-B 館）において広報連携に関する協定の調印式を開催しました。

ナウル共和国パビリオンと箕面市は、X で繋がった友好をより一層深めるとともに、雄大な自然という共通点を活かした両地域の魅力発信による互いの認知度向上と地域活性化を目的として、広報連携に関する協定を締結しました。この広報連携協定は、ナウル政府観光局が X に投稿した市町村への広報連携の呼びかけに、箕面市長自らが応じたことをきっかけに始まったものです。

ナウル共和国は、オセアニアにある面積 21.1 平方キロメートルほどの島国です。人口は 1 万 2000 人ほどの国ですが、ナウル共和国政府観光局公式 X は同国の人口を大きく超える 54 万人のフォロワーがいます。

9 月 12 日（金曜日）、大阪・関西万博会場内のナウル共和国パビリオン（コモンズ-B 館）において、ナウル共和国パビリオンからは政府代表代行のシャンディー フランチェスカ エイケンさんが、箕面市からは原田亮市長が調印式に参加しました。

多くの来館者が見守る中、箕面市長は「今回、広報連携協定の締結を行うことで、箕面市民や箕面の子どもたちが世界に興味を抱くきっかけになれば嬉しいです。9 月 13 日（土曜日）～9 月 15 日（月曜日・祝日）の三連休は、EXP0 メッセ内の箕面ブースとナウル共和国パビリオンの 2 つのブースにそれぞれ 2 つずつスタンプを設置し、計 4 つのスタンプを重ねて捺すことで 1 つの絵が完成する重ね捺しスタンプを設置します。この取組を通して、お互いの絆がさらに深まればと思っています。」と話しました。

また、ナウル共和国パビリオン政府代表代行は「万博が開催されている大阪府の市町村と締結を結ぶのは今回が初めてでとても嬉しいです。箕面市内でナウル料理の試食会が検討されていると聞いており、参加するのが楽しみです。」と話されました。

調印と記念撮影の後、重ね捺しスタンプを体験するなど、始終和やかな雰囲気で行われました。



9月13日（土曜日）～9月15日（月曜日・祝日）の三連休中、重ね捺しスタンプが設置されたナウル共和国パビリオン、箕面市が出展する EXPO メッセでは、スタンプ台の前に長蛇の列ができ、多くの来場者が重ね捺しスタンプを楽しんでいました。

